

幼児教育推進プラン策定に係る保育者等アンケート結果について

【幼児教育推進プラン策定に係る保育者等アンケート 集計概要】

資料 3

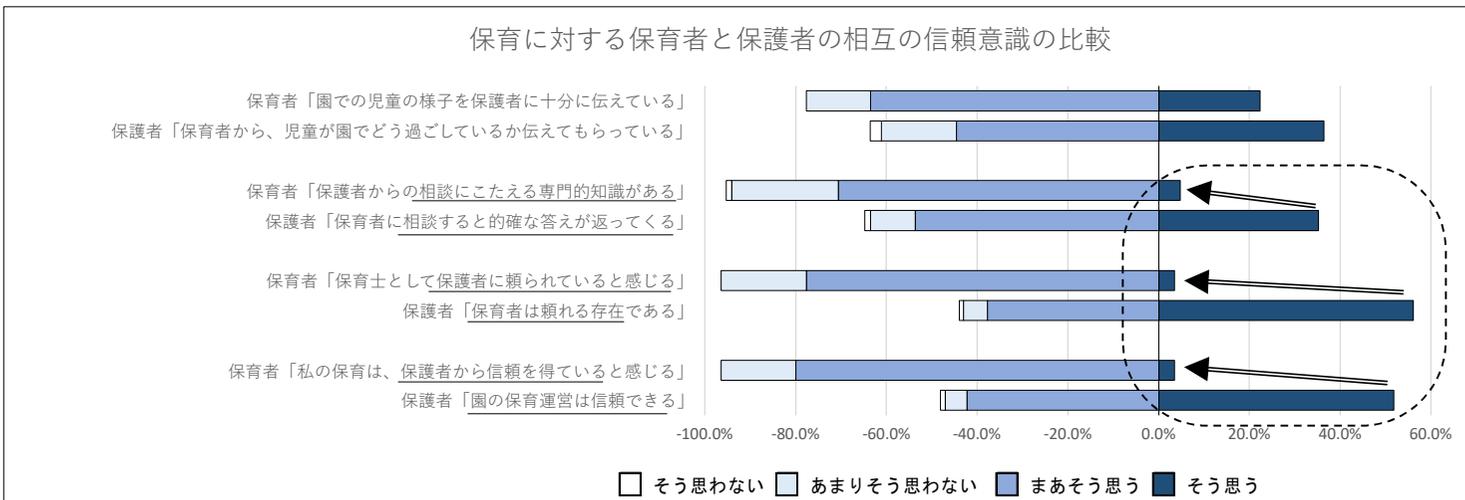
区分	対象者	配布数	回収数	回収率
幼稚園、保育所(園)及び認定こども園	3歳以上児保護者	1,913	1,203	62.9%
	3歳以上児担任保育士	110	85	77.3%
	施設長	32	24	75.0%
小学校	1年生担任	32	24	75.0%

※ 令和4年8月実施
 ※ 集計結果は、別紙

【幼児教育推進プラン策定に係る保育者等アンケートにより見えてきた課題】

◎ 自信のある保育の実施

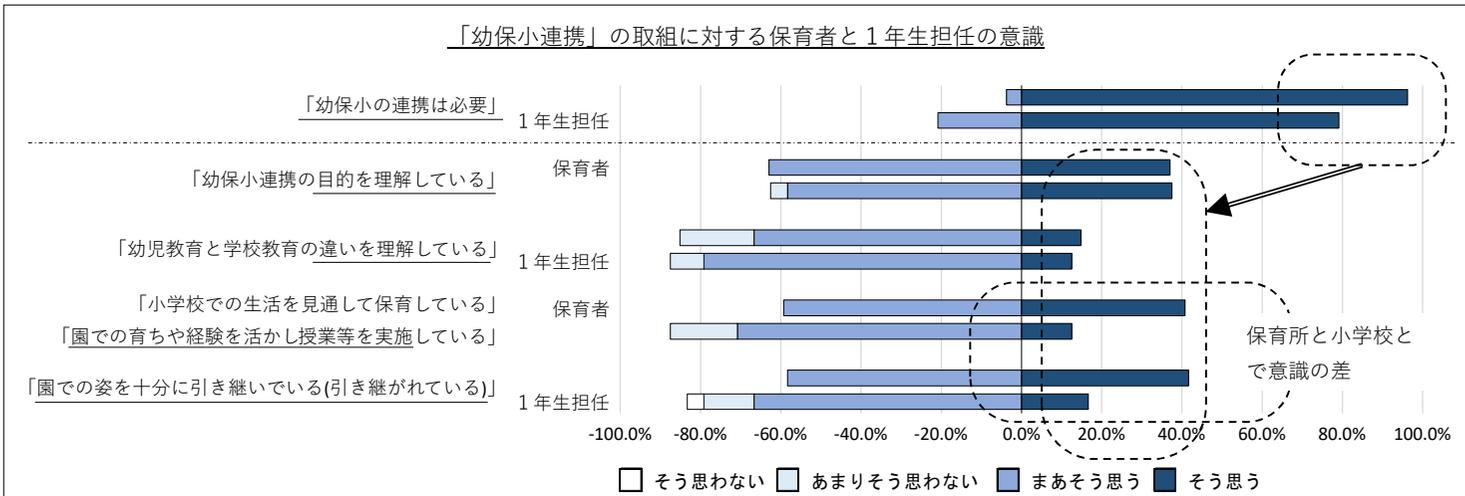
※ 傾向を明確化させるため、あえて「そう思う」の区分で比較した。



保護者からの信頼は得ているものの、保育者は専門的知識や経験に基づいた自己の保育に対しては自信がない。

⇒ 専門的知識などについて、より一層強化していく必要
(研修、園内勉強会等の実施)

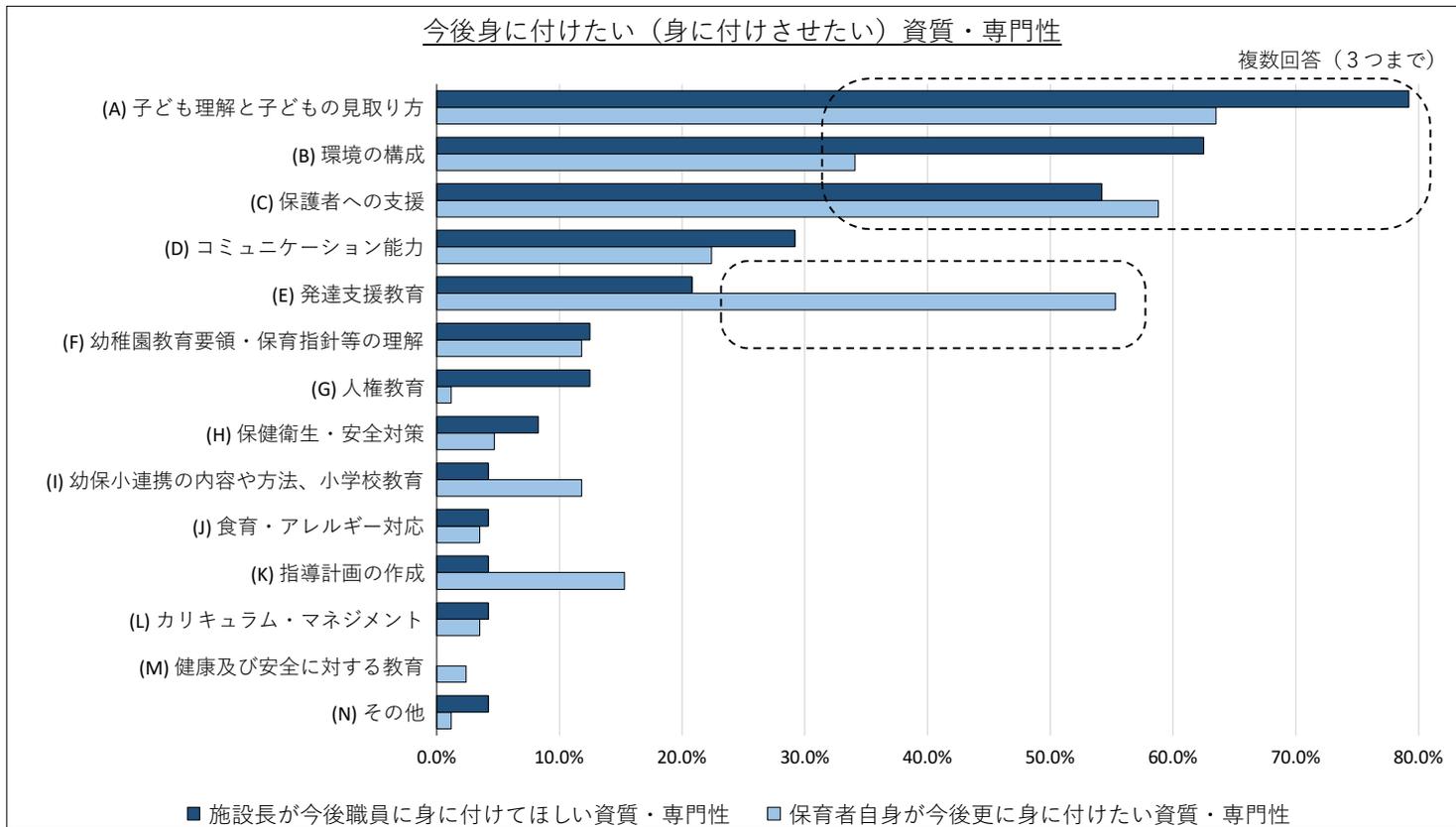
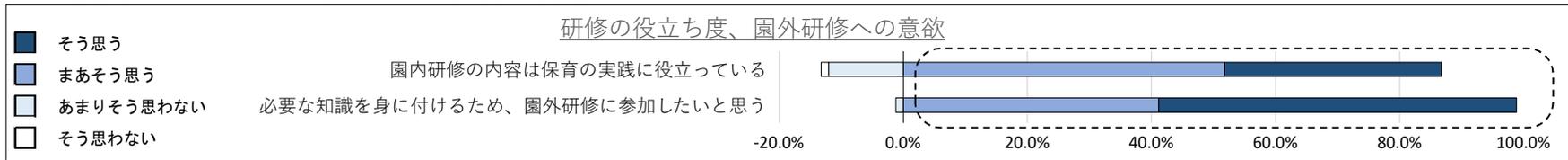
◎ 幼保小連携に対する実践者の制度理解



保育者、1年生担任共に「幼保小連携は必要」としているが、幼保小連携の目的や趣旨に対し、自信を持って「理解している」とは言えない状態

⇒ 幼保小連携実務者会議内における制度実践への意識合わせとその深化が必要

◎ 保育者の研修の現況と身に付けたい資質・専門性



○現状の園内研修は、一定の役立ち度を示している。また、園外研修への意欲もある。

○施設長、クラス担任共に「子ども理解」や「環境構成」「保護者支援」など、保育の基本となる項目への研修の必要性を示している。また、クラス担任自身は支援が必要な子への対応のための「発達支援教育」の研修を求めている。

⇒ これらの意向を踏まえ、研修を一層充実させていく。